

2024 年度入試 過去問題・参考作品「イメージ表現」

2024年 2月 4日実施

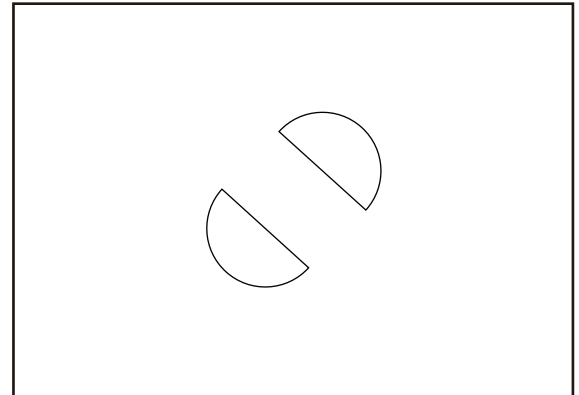
時 間 10:00 ～ 13:00 (180 分)

問 題 画用紙に印刷された図形から発想される世界を
絵と文章で表現しなさい。

制作条件 画用紙は、縦位置／横位置のいずれに使用してもよい。
作文の文字数に関する条件指定はありません。
ただし、1 枚の作文用紙のなかで文章表現してください。

支給物 画用紙 (B4) 1 枚
作文用紙 (B5) 1 枚
下描き用紙 (A4) 1 枚

図 形



参考作品①



作文

森で遊ぶのが大好きな少年は、ある雪の日、いつものように森へ遊びに出かけた。少年は森の動物たちと一緒に雪合戦をしたり、雪だるまを作ったりして遊んだ。しかし途中で、少年の手がかじかんでうまく動かせなくなってしまった。そう、少年は手ぶくろを持っていなかったのだ。それを見た森の動物たちはそそくさと森の奥へ帰ってしまった。「まだ遊びたかったのになあ。」少年がため息をついたその時、動物たちがもどってきて、ある物を少年にさしだした。それは、森の木の葉っぱやツタを編んで作った手ぶくろだったのだ。少年はとても喜び、それを大事そうに手にはめた。森の仲間たちとの雪遊びは日が暮れるまで続いたのだった。

参考作品②



作文

「私は巨大な金魚を一匹飼っている!」女の子は町の人たちに言った。この言葉は人たちを注目させた。「巨大?どのぐらい?」「島より大きな金魚だ!」女の子は返事した。みんなの表情はおかしくなった。風車屋の老人は「ハハハ」と笑った。「島のような?僕は見たことがない。そんな金魚はいない!昔、海に出た時、クジラは 一匹見たことがある。あれは世界で一番大きな魚のはずだ!多分島ぐらいできるよ……でも金魚なんてありえないよ、もし存在したら、どんな大きな水槽が必要だろう!」女の子は老人を無視した。自分の金魚は毎日泡を吹き出す、波を作っている、どうして みんなが慣れたの? 「変な子だ、嘘つくなよ!」大人たちは部屋に帰った。彼女一人が残った。地面に伏せて、囁いて、「みんな、きみの存在、信じないな……」海水は波を出し、低い声を海岸から出した……。

参考作品③



作文

青い海に、巨大なタコが暮らしています。彼は人のように話せます。海の中には様々な生物が生きています。でも、海の生物は話せないのでタコと交流できません。タコはだんだん寂しくなりました。「だれともおしゃべりできない生活やだ!」と思いました。そして、にもつを準備して、ひとりで旅行してきます。旅行してる途中で、小さい島を見つけました。そこで2羽の鳥が生活しています。「こんにちは!」

彼たち突然あいさつします。
「ええ! こんにちは! あなたも話しますか」
「そうだよ。あなたは何をやるのか」
タコにさきます。
「私は今旅行している」
「じゃ、ここでしばらく休もう」
数日後、タコと鳥たちは友達になりました。でも、タコは旅行を続けます。
「いっしょに旅行しませんか、このうつくしい世界を見ながらもっと多い生物と友達になりましょう」
タコは鳥たちを誘います。
「もちろん、いっしょにいこう」
夕方の海面はきいろと赤いいろきらきらにひかれます。彼たちはわらいながら話して、島から離れました。

参考作品④



作文

地球からやって来た宇宙飛行士は、砂漠の中を猛スピードで過ぎ去っていく乗り物を目にした。おどろきのあまり、宇宙船から飛び出した。宇宙飛行士は、ただ漠然とすることしかできなかった。なぜならここは「サボテン惑星X」だからだ。目の前を通り過ぎた乗り物は、制能や見た目が地球では見たことないほど奇妙でありながらも、興味をもった宇宙飛行士は、その乗り物「サボテンボンバー」の操縦員に話を聞いて、操縦方法を学んだ。そうしている内に、サボテン星の人と仲良くなり、操縦法をマスターした頃には長い年月がたった。そしてまた、宇宙飛行士は、新たな惑星へと旅だった。